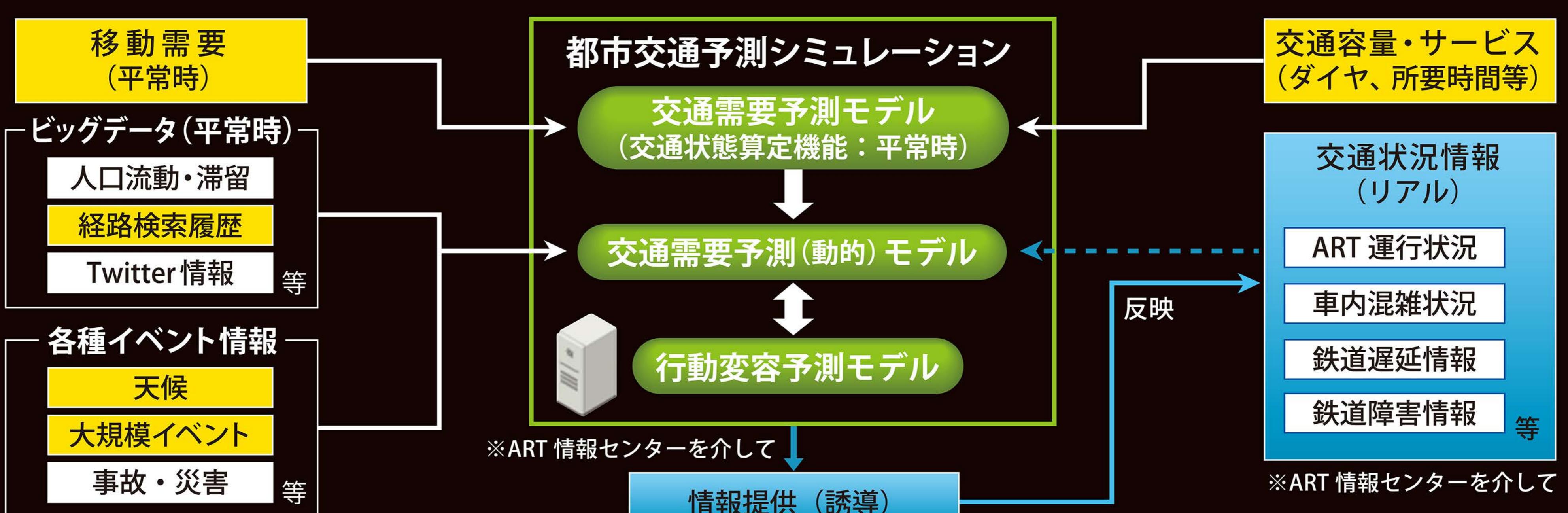


大規模イベント時に快適かつ安全に移動するためには、過度な混雑を回避することが重要です。ビッグデータを活用した混雑予測と回避のための情報をリアルタイムに提供します。

混雑予測と混雑回避のための情報提供

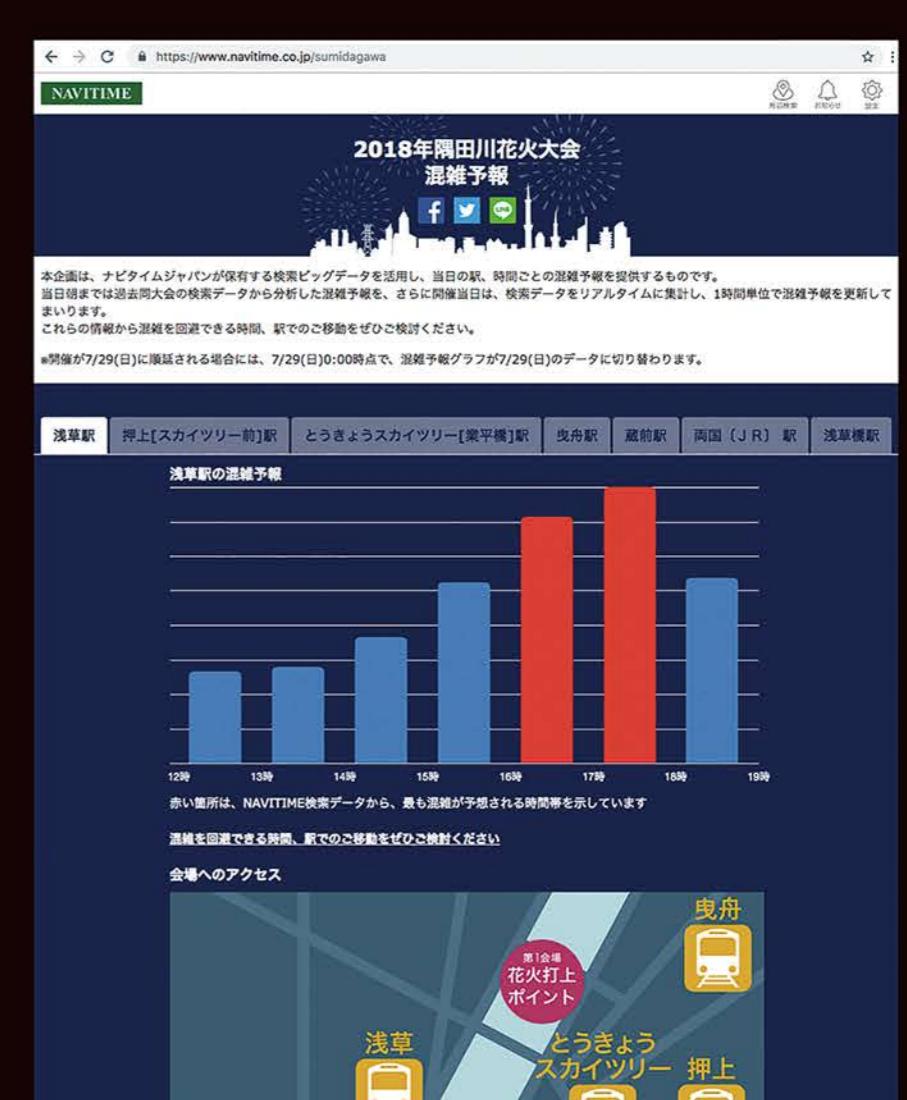
ビッグデータを活用した混雑予測と回避のための情報を提供

- リアルタイムにデータがインプットされることを前提に、各種ビッグデータやイベント情報等から都市交通の「混雑」状況を予測します。
- 予測に基づき、人々が混雑を回避するために必要な情報を提供します。
- 情報提供による人々の行動の変化をモデル化し、混雑予測に活用します。

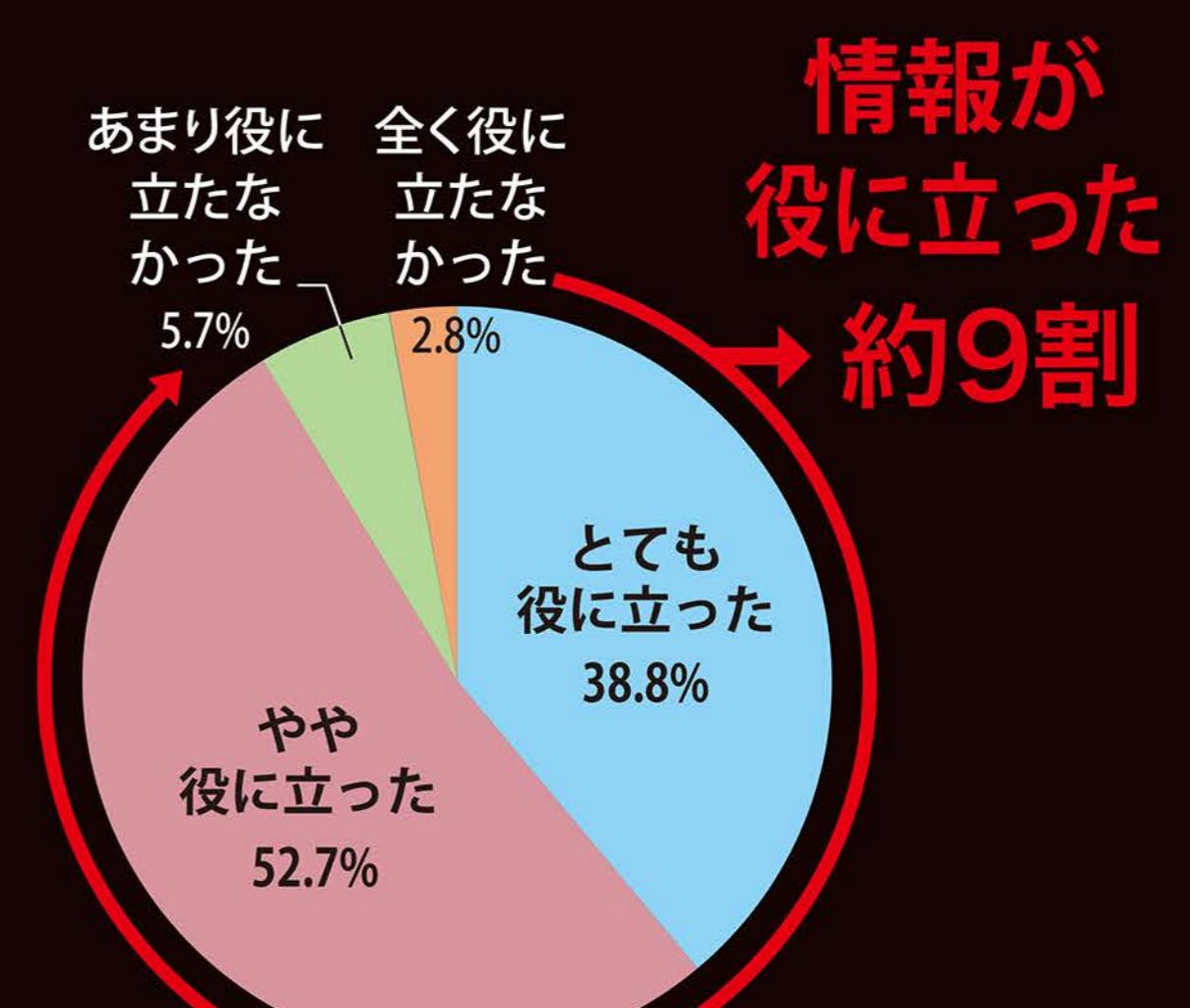


経路検索アプリ等を活用した混雑予測・情報提供により、混雑回避を誘導

- 経路椡索アプリの検索履歴情報をもとに、大規模イベント（花火大会）における鉄道駅の混雑状況をリアルタイム予測し、情報提供しました。
- 情報を見た人の約9割の人が役に立ったと回答し、情報を見て約2割が行動を変えた等、混雑回避を誘導することができました。



■あなたがご覧になった情報は役に立ちましたか (n=577)



混雑予測シミュレーションにより誘導の効果を把握

- シミュレーションモデルに基づき、情報提供による誘導の効果を把握することで、より効果的な誘導施策検討の基礎データを提供しました。

今後は、リアルタイムなデータ収集に向けた関係機関との連携や情報提供の枠組み構築等により、本技術の社会実装が期待されます。